

一般診療所における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	患者のベッドからの移動をするための行為中、バランスを崩し、床に手からついた時に右手親指を痛めた。	30~99	50
1	8~9	病院敷地内（駐車場）で雪かきをしていたところ、地面凍結している箇所があり、滑って転倒し、右手首をつき骨折した。	53	—
1	8~9	朝通勤し降車後、医院敷地内にて、前日の雪にて凍結した場所で転倒し、右肩を強打し骨折した。	33	—
2	13~14	患者さんに用があり連絡しようと受付カウンターに入ろうとした時、手前にあったカルテ箱に躓き転倒した。その際カルテ箱の先にあったカルテワゴン下部に右手を差し込み右上腕部を骨折受傷した。	43	10~29
2	7~8	外来廊下を通っていた時に足を滑らせてバランスを崩し転倒した。	45	30~49
2	9~10	血圧測定・問診を取りカルテ記入台へ移動中、誤って躓き、転倒して左肩を強打し、受傷する。	69	10~29
2	10~11	カルテ棚の整理中、左足首を捻ってバランスをくずし右膝を床に打ちつけた。	61	1~9
2	19~20	研修に参加しての帰り道で、バス下車後、歩道を歩いている時、歩道のポール根	47	10~

		元に躓き転倒する。その際両掌を擦りむき左膝を強打する。		29
3	13~14	診察室で診察台の器具を準備中、額帯電燈のコードに右足を引っ掛けたため、左手をついて転び、左肘（橈骨頭）を骨折した。	64	1~9
3	6~7	2階一般病棟でカーテンを開けようとして転倒した。	57	100~299
4	11~12	病室に向かっている時、2階廊下でビニール袋を踏んで転倒した。	57	50~99
4	12~13	午前中の仕事が終わりに、自宅に帰る時、職場の駐車場で自転車に乗ろうとした時に足を踏みはずして転倒し、立ち上がれなくなった。	52	1~9
5	9~10	被災者がデイルームから事務所へ移動中、右片麻痺の利用者が杖歩行中にバランスを崩して転倒しそうになったのを発見した。被災者は急いで利用者の前方に移動し、バランスを崩した利用者を抱えようとした。利用者は男性で55kg位あり、被災者は結局支えきれずに、利用者が覆いかぶさる形で後方へ転倒し、尻もちをつき左臀部を強打した。	65	30~49
5	11~12	院内1階フロアにて、外来患者の治療を終えて病棟に移動中、慌てていたため躓いて転倒し、右膝を負傷した。	57	10~29
6	8~9	事業場で借り上げしている駐車場での災害車から降り、横にあった木材に躓き転倒した。	49	1~9
6	12~13	クリニック駐車場にて、検査伝票を業者へ渡そうとした際、駐車場ブロックに躓き転倒し、右手首を左膝を負傷した。	52	1~9
6	15~16	検査室において器械と台の間を移動しようとした時、器械から出ていた電気コードに右足が引っ掛かり、勢いがついていたので左方向に転倒し、左手首を骨折した。	59	10~29
	10~	患者の処方箋を薬局に持参した帰り、小走しりで病院のドアまで来た時、雨で濡れ		1~

6	11	たタイルに足をとられ転倒した。その時、右足首及び右足脛を骨折した。	55	9
7	11~12	医院内にて作業中、入院患者の洗濯物を干そうと、屋上（3階）にある階段の踊り場横の手スリに干してある器具の乾き状態を確認しに行った。階段を下りる時、前を良くみていなかったため、階段を踏み外して転倒し、左足を打って負傷した。	32	10 ~ 29
7	11~ 12	歯科医院内の2階消毒室から3階院長室に通じる階段において、クリーニング液の入った紙袋を院長室に運ぶとき、最後の一段で足を滑らせ前方に転倒し、防火扉に右手を打ちつけ、右手首を骨折した。	58	50 ~ 99
7	16~ 17	クリニックの受付付近で、他のスタッフの足に躓き、肩から転倒した。腕が上がらずビリビリと痺れもあったため受診したところ、レントゲンでは骨に異常はなく肩の神経が傷ついている可能性があるとの診断を受けた。	43	10 ~ 29
9	12~ 13	患者さんの点滴抜去後、点滴スタンドの足につまずき、その後、そばにあった踏台に体をねじった状態で転倒し、負傷した。	71	10 ~ 29
9	8~9	クリニック待合室にて、掃除機をかけていた時に、隣室へ移ろうと掃除機を持って移動中、コードが足元に絡まって、そのコードを踏みつけ転倒、ドアと床に全身を強くたたきつけた。	58	10 ~ 29
9	11~ 12	訪問先マンションの駐輪場に自転車にて進入しようとしていた、前の道に駐車車両があったこともあり、やや狭いところ（やや道幅に下がった傾斜あり、雨上がりで濡れていた。）を斜めに入ったが、自転車が右側に滑ってしまい、左側に転倒した。	67	10 ~ 29
10	10~ 11	診察所内で医師の診療補助中に、待合室にいる付き添いの家族に診察室に来てもらうために、待合室へ向かう際に、診察台横に設置されているホースに足を絡ませてしまい転倒した。万歳の格好のまま前から転倒したために、両膝を強打した。	55	1~ 9
10	17~ 18	事業所内にて、カルテをバックヤードへ移動中、通路端の足元にあった踏み台に躓き転倒した。転倒した際、側にあった尿排水シンクに右上腕部を強打し負傷した。	73	1~ 9
		レントゲン室にて事故発生。レントゲン室で、患者のレントゲン撮影をする為、		

10	12～ 13	位置確認作業をしている最中、足を滑らせ転倒し、左足を捻った上転倒し、負傷してしまったもの。後日、骨折していることが判明。	53	1～ 9
10	11～ 12	当院診察室においてカルテの移動をしていた際、自分の後ろにあった可動する椅子につまずき転倒し右膝を打った。右膝滑液包血腫。	69	1～ 9
11	19～ 20	クリニック内の受付窓口で移動中、椅子に足が躓き転倒し、歩行困難となった。そのまま病院で受診した結果、左股関節骨折で入院、手術、リハビリ加療となった。	42	10 ～ 29
11	12～ 13	病院の駐車場へ掃除（ワックス掛け）の為、長椅子を運び出していた時、駐車場の車止めに、不注意にも気が付かず足を引っ掛けてしまい転倒し、左足を負傷した。	44	1～ 9
12	8～9	勤務先である医院の入り口において、出勤のため扉を開けて入った際に、わずかな段差に不意につまずき、手を出して支えようとしたが間に合わず向かいの壁に激しくぶつけて生じたものである。	60	1～ 9
12	17～18	仕事が終わったあと、病院から一旦道路へ出て職員駐車場へ向かう途中、患者駐車場と道路の境において、敷地内のポールとポールの上にチェーンが地面に渡して置かれており、チェーンを跨ごうとしたとき、足が十分に上がらず、垂れたチェーンに足を引っ掛けて顔面から転倒した。	61	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html